

11 雇用・就労の支援			
主管課名	生活文化スポーツ部 産業振興課		
主管課長名	山本 篤志	電話番号	042-443-1219
関係課名 （組織順）	男女共同参画推進課, 福祉総務課, 生活福祉課, 高齢福祉担当, 障害福祉課		
目的	対象	就労者, 就労希望者, 事業所	
	意図	就労していきいきと暮らすことができる	
施策の方向	国, 東京都等の関係機関や近隣自治体及び民間事業者など多様な主体と連携し, 個々に応じた雇用・就労を支援します。また, 市内事業者の福利厚生の上を促進します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績（DO）

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
（11-1 雇用・就労に向けた支援）	<p>・調布国領しごと情報広場の運営参画, 就労支援セミナーや就職面接会, 事業者向けセミナーの開催, ちょうふ若者サポートステーションの運営支援など国や東京都の関係機関と連携して, 雇用・就労に向けた支援を積極的に展開した。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちょうふ若者サポートステーションの職場体験プログラム実施への協力などにより, 若者の職業的自立を支援した。 ・障害者の就労支援については, 障害者の雇用についての理解を高め, 雇用の促進と安定を図ることを目的とした「障害者就労体験事業奨励金」について, 障害者就労支援法人との連携に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ1 「地域共生社会の実現に向けた取組」 ・ハローワーク府中と, 「地域雇用問題連絡会議」及び『調布国領しごと情報広場』業務運営に関する協議会, 東京都労働相談情報センター八王子事務所と「労働情勢懇談会」をそれぞれ開催し, 情報共有を図るとともに, 雇用・就労の支援に向けた意見交換を行った。 ・地域活性化包括連携協定に基づき, (株)セブン-イレブン・ジャパンとの共催で「シニア向けお仕事説明会」を開催し, 高齢者の就労を支援した。 ・公益財団法人東京しごと財団との共催で就職面接会を開催したほか, 新たにシニア向けのセミナーを実施した。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調布国領しごと情報広場マザーズコーナーにおける保育付き就労セミナーの共催や貸出用スーツの提供により女性の就労支援を推進した。
（11-2 就労者に対する支援）	<p>・調布市勤労者互助会の運営の安定と事業の充実を図るために補助金を交付するほか, 同会を市報やホームページでPRするとともに, 産業振興課窓口にパンフレットを配架するなど, 加入促進支援を図った。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都労働相談情報センター八王子事務所と共催して, 職場復帰セミナーを開催するとともに, 三鷹労働基準監督署, ハローワーク府中とも連携し, 調布駅前街頭労働相談を実施し, 労働問題全般への意識啓発を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ1 「地域共生社会の実現に向けた取組」 ・勤労者互助会への新規加入者を増加させるために, 中小企業事業資金融資あっせんの通知文書に「勤労者互助会の案内」を同封するほか, よろず経営相談（アウトリーチ型相談）の際や, 福祉作業所等連絡会の場で周知を図った。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報やホームページに勤労者互助会の案内を掲載するとともに, 産業振興課窓口にパンフレットを配架するなどの加入促進支援に加え, 中小企業事業資金融資あっせん通知文書への案内書同封, よろず経営相談や福祉作業所等連絡会の場で周知を図った。
< 令和元年度における施策の成果についての総括 >	
<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク府中との共催による就職面接会やセミナーなどの実施により, 「国領しごと情報ひろば」の就職者数（1,232人）のうち, 市内在住者数は814人となりその割合は66%となった。 ・調布市勤労者互助会への補助金交付やパンフレット配架などにより, 勤労者互助会の会員数は3,511人となった。 	

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標，◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	「調布国領しごと情報広場」全体の就職者における市内在住者の割合【☆】	61.0 (H29)	%	66.0	65.0
2	勤労者互助会の会員数【☆】	3,465 (H29)	人	3,511	3,500
3	「調布国領しごと情報広場」における市内在住者の就職者数【◎】 (目標値は令和元年度)	1,037 (H26)	人	814	1,150
【備考】					

2 令和元年度の振り返り — 評価 (CHECK)

総合評価	A	S：「顕著な取組成果が得られた。計画以上に目標を達成した。」 A：「予定した取組成果が得られた。計画どおりに目標を達成した。」 B：「一定程度の取組成果が得られた。概ね計画どおりに目標を達成した。」 C：「予定した取組成果が得られなかった。目標達成にはやや至らなかった。」 D：「取組成果が得られなかった。目標達成までには至らなかった。」
理由	<ul style="list-style-type: none"> ハローワークの利用者が減少する中であって、調布国領しごと情報広場において市民が利用しやすい就労支援機関の役割を果たしたため。 様々な機会を捉えて調布市勤労者互助会への加入促進を図れたため。 	

3 施策の方向 — (ACTION)

区分	今後の取組の方向 ★：重点プロジェクトに関連する取組，●：新規の取組，○：拡充の検討を要する取組
令和2年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 調布国領しごと情報広場やちようふ若者サポートステーションと連携して引き続き就労支援を行う。 引き続き様々な機会を捉えて調布市勤労者互助会への加入促進を行う。
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応	
東京2020大会開催延期に伴う対応	
台風への対応を踏まえた災害対応	
令和3年度以降の計画期間内の取組 (令和2年度から継続する取組を除く)	

11 雇用・就労の支援

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	事務事業の概要
1	調布国領しごと情報広場の運営参画		●	産業振興課	<p>ハローワーク府中との連携事業として、「調布国領しごと情報広場」の運営に参画し、就職に関する相談や情報提供など、地域住民や事業所の求人・求職のニーズに対応した就労を支援する。</p> <p>子育てをしながら就職を希望している方に対して、「マザーズコーナー」による就職支援を実施する。</p> <p>調布国領しごと情報広場を所管するハローワーク府中と連携し、各種セミナーや合同就職面接会を実施する。</p>

11 雇用・就労の支援

※各事務事業の概要については、巻末の「⑦事務事業概要一覧」をご参照ください。

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	R1 決算事業費(千円)	令和元年度の実績	実績評価	進捗状況・今後の取組の方向性								今後の取組内容 (新型コロナウイルス感染症の影響に関する内容は冒頭に◆印を記載しています)
								R1 取組実績			方向性					
								計画前倒し	計画どおり	計画遅れ	有効性改善	効率性改善	財政面改善	参加と協働改善	改善余地なし	
1	調布国領しごと情報広場の運営参画		●	産業振興課	2,441	「調布国領しごと情報広場」の延べ来所者数は、2万1424人(1693人減)、就職者数は1232人(42人減)、うち市内在住者の就職者数は814人(17人減)となった。また、マザーズコーナーの延べ来所者数は、3003人(769人減)、就職者数は379人(179人減)、うち市内在住者の就職者数は238人(87人減)となった。なお、来所者数及び市民の割合は、景気状況等の動向から減少傾向が続いている。一方で、就職者における市内在住者の割合は増加している。 ※()内は前年度との比較。東京労働局やハローワーク府中と連携したセミナーを開催するとともに、働きたいママのためのビジネスマナー・メイクアップセミナー、子育てしながら働きたい方のためのパソコン教室を実施した。 これらを通じて、地域住民や事業所の求人・求職のニーズに対応した就労の支援を行うことができた。	○		●		●	●				就労希望者と中小企業とのマッチングを緊密に行うことで、就労支援につなげていく。 ハローワークによる職業相談・紹介に至らない非就労の若者に対しては、ちょうふ若者サポートステーションが実施する様々な就労支援が受けられるよう、引き続き、双方の連携強化を図り、就労支援セミナーを実施することで、雇用や就労へつなげるサポートに取り組み、若者の職業的自立を促進する。 ハローワークとちょうふ若者サポートステーションが隣接している利点を活かし、産業労働支援センターとも連携しながら、双方の利用者の相互案内等の取組も充実させていく。 マザーズコーナーと協力して、女性の就労支援に関する新たなセミナーを企画運営していく。
							○	1	0	1	1	0	0	0	計	
							0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	割合(%)	

当該施策に体系付けられている全ての事務事業については、巻末に掲載している参考資料「⑥事務事業一覧(施策体系順)」をご参照ください。